

第3回委員会 委員からの意見と対応(案)

委員からの意見	対応方針
徳島小松島港中期構想(素案)について	
バックキャストは必ずしも達成しなければならないものではないため、目標設定をもう少し力強く、しっかり記載できないか。	バックキャストにより、長期イメージを「徳島小松島港の一步先の未来」として整理した。目標設定として「産業振興に貢献する付加価値の高い港湾へ」とし、3つのテーマを設け、テーマごとに未来の姿をイメージ図とともに整理し、明確にした。【P.43】
トラックドライバー不足への対応を踏まえ、港は今後の物流をどのように担っていくのか、未来に羽ばたく物流という趣旨の記載が欲しい。	
徳島小松島港のオリジナルとして安全支援港となることが、この中長期構想において大事にしたい部分である。	
西日本豪雨等に関する災害事例を前段に記載すると、災害時の港湾機能の継続という話に繋がりやすい。	
トラックと船の融合においては、道路と港湾のアクセス（高速道路と港湾をつなぐ道路）が重要である。	重要物流道路の指定および港湾へのアクセスが悪いことを整理し【P.37】、物流に関する取組み、産業振興に関する取組みにおいて、「IC整備に合わせたアクセス道連結」を明記した。【P.50、P.55】
小松島港区活性化プラン(案)について	
外貿に限らず、特に内航が重要であると改めて認識し、今後の内航物流の動向が重要である。そのため、内航に関する資料を補強する必要がある。	外貿における海上輸送分担率、内貿における内航海運分担率、緊急・支援物資の輸送など、内航海運の重要性について整理した。【P.14】
中期みなと再生ビジョンで実現できたことの評価と、実現できなかったことの反省を加えると良い。	中期みなと再生ビジョンの取組実績や頻度について整理した。【P.7～9】